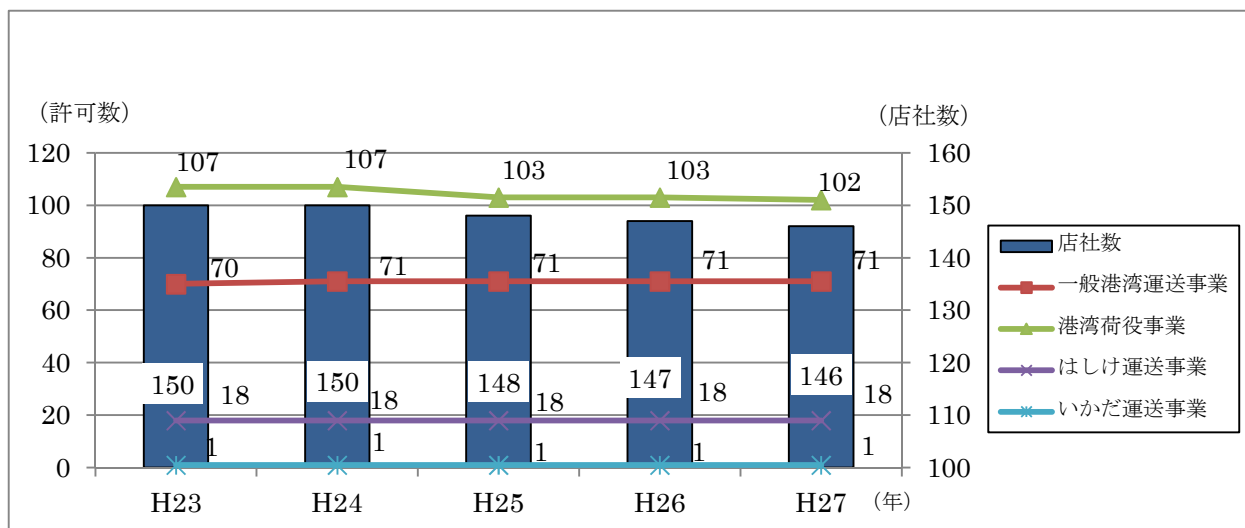


3 港湾運送事業の現況

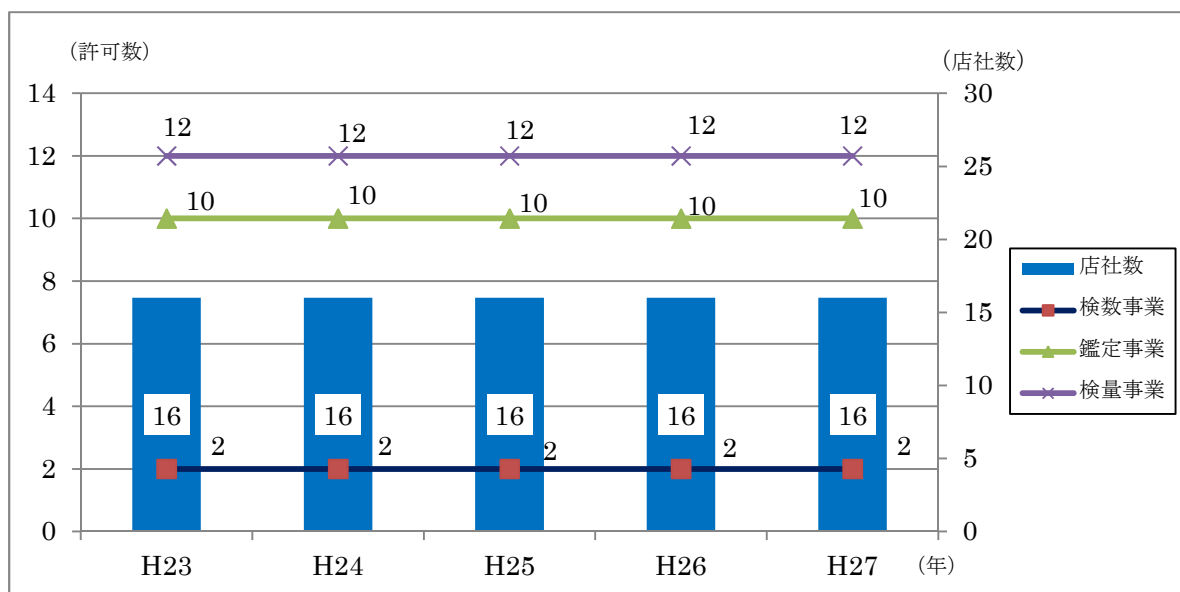
(1) 港湾運送事業者数・許可数

管内の指定港湾各地における許可数及び店社数（事業者数）等の推移（各年6月1日現在）は第5図から第7図のとおりである。

第5図 港湾運送事業者の許可数及び店社数の推移

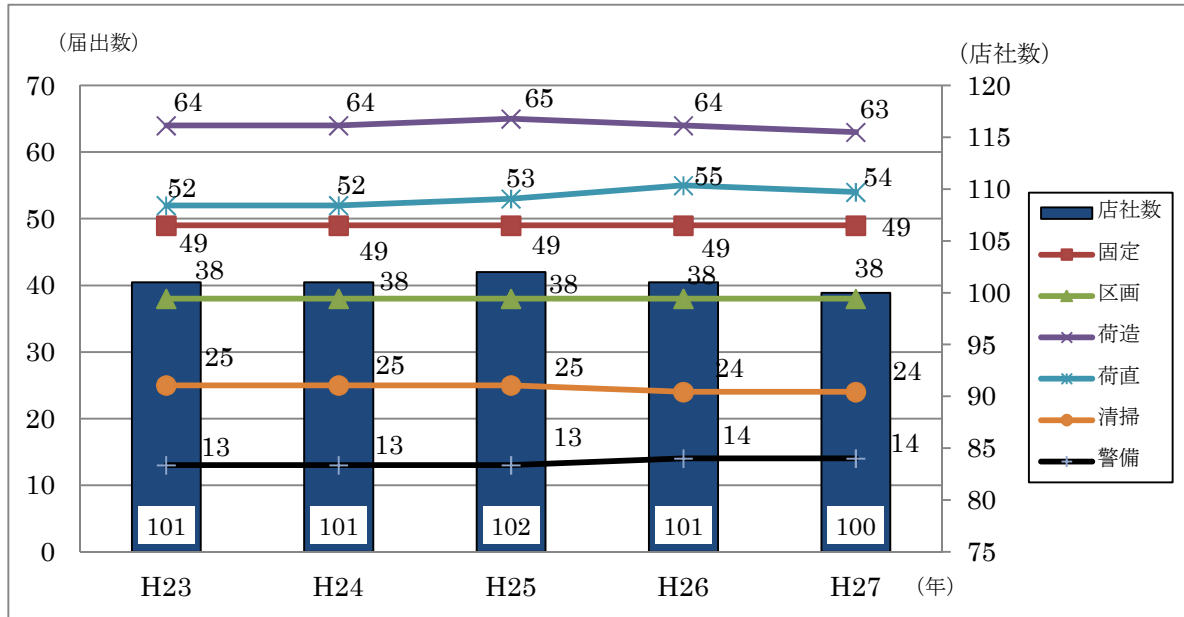


第6図 検数・鑑定・検量事業者の店社数と許可数の推移



注. 検数・鑑定・検量事業については全国一律許可

第7図 港湾運送関連事業者の店社数と届出数の推移



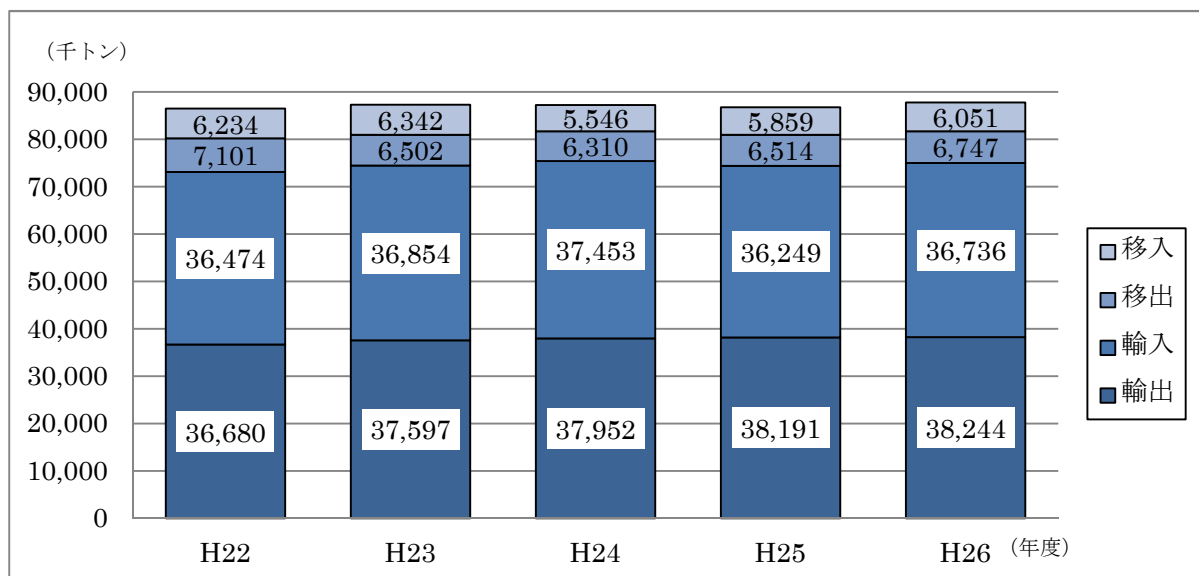
(2) 港湾運送実績

※ () 内%は対前年度比を示す

管内の港湾運送事業法の指定港である神戸港、尼崎西宮芦屋港、姫路港及び東播磨港の船舶積卸実績は、第8図から第11図のとおりである。

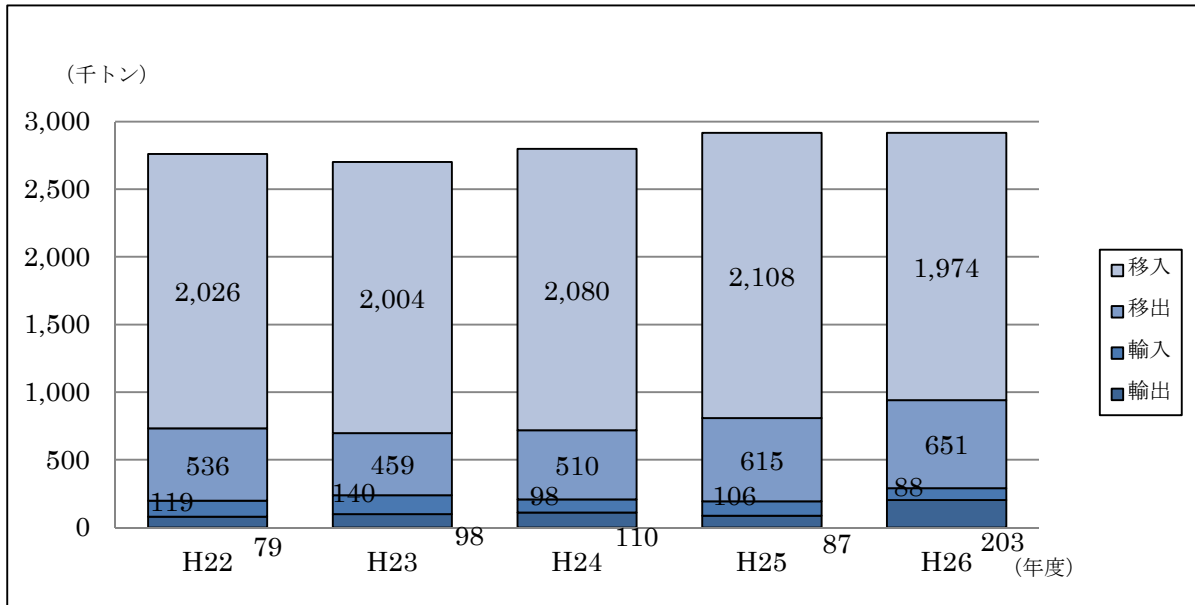
神戸港における平成26年度の総取扱量は、87,778千トン(101.1%)であった。品目別では、コンテナ貨物67,850千トン(101.7%)、石炭3,577千トン(92.0%)、自動車3,281千トン(93.0%)、鉄鋼2,709千トン(105.1%)となっている。

第8図 神戸港船舶積卸実績の推移



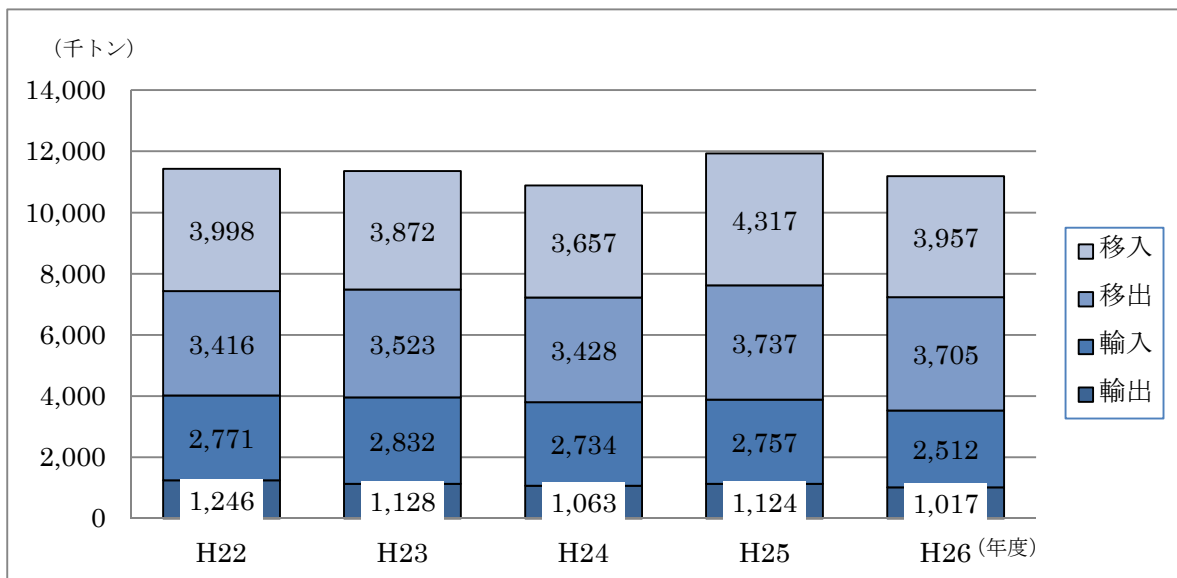
尼崎西宮芦屋港における平成26年度の総取扱貨物量は、2,916千トン（100.0%）であった。品目別では、鉄鋼1,209千トン（94.4%）、自動車1,207千トン（100.8%）、金属くず284千トン（149.5%）の3品目が、全体の9割強を占めている。

第9図 尼崎西宮芦屋港船舶積卸実績の推移



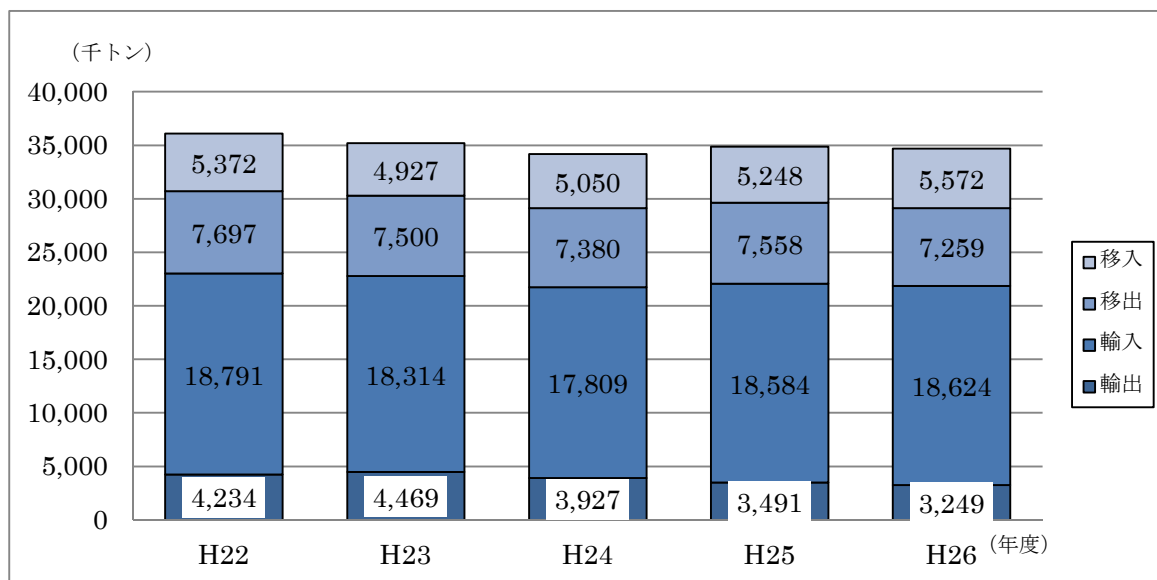
姫路港における平成26年度の総取扱貨物量は、11,191千トン（93.8%）であった。品目別では、鉄鋼6,185千トン（95.4%）、石炭2,146千トン（93.1%）、金属くず1,345千トン（88.2%）の3品目が、全体の8割強を占めている。

第10図 姫路港船舶積卸実績の推移



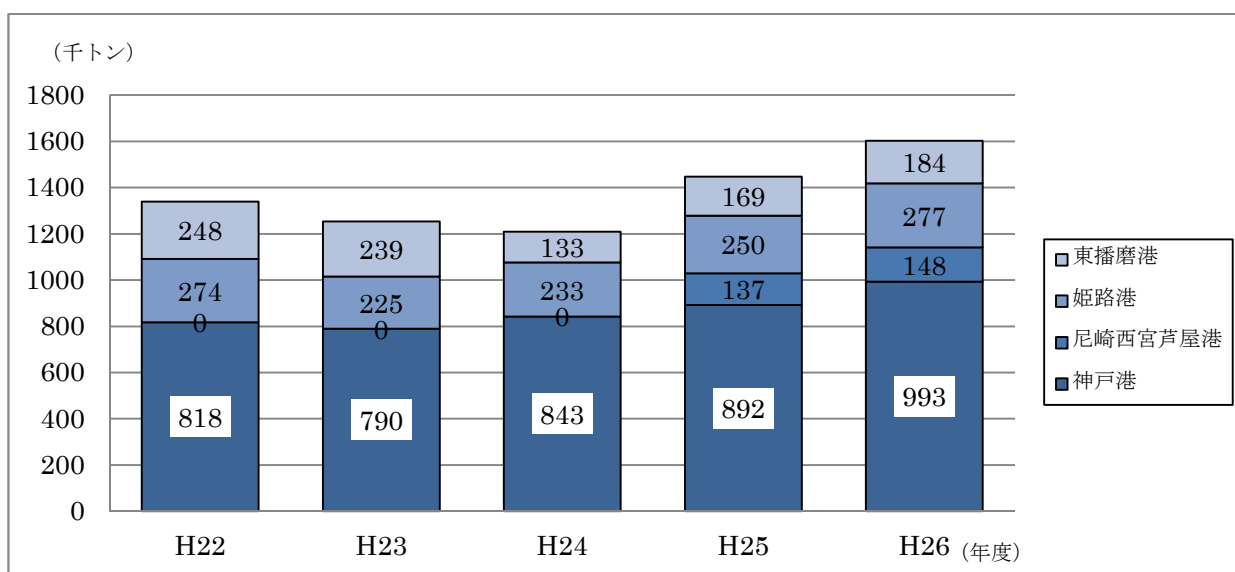
東播磨港における平成26年度の総取扱貨物量は、34,704千トン（99.5%）であった。品目別では、金属鉱15,291千トン（103.4%）、石炭7,054千トン（96.6%）、鉄鋼5,294千トン（96.7%）の3品目が、全体の8割弱を占めている。

第11図 東播磨港船舶積卸実績の推移



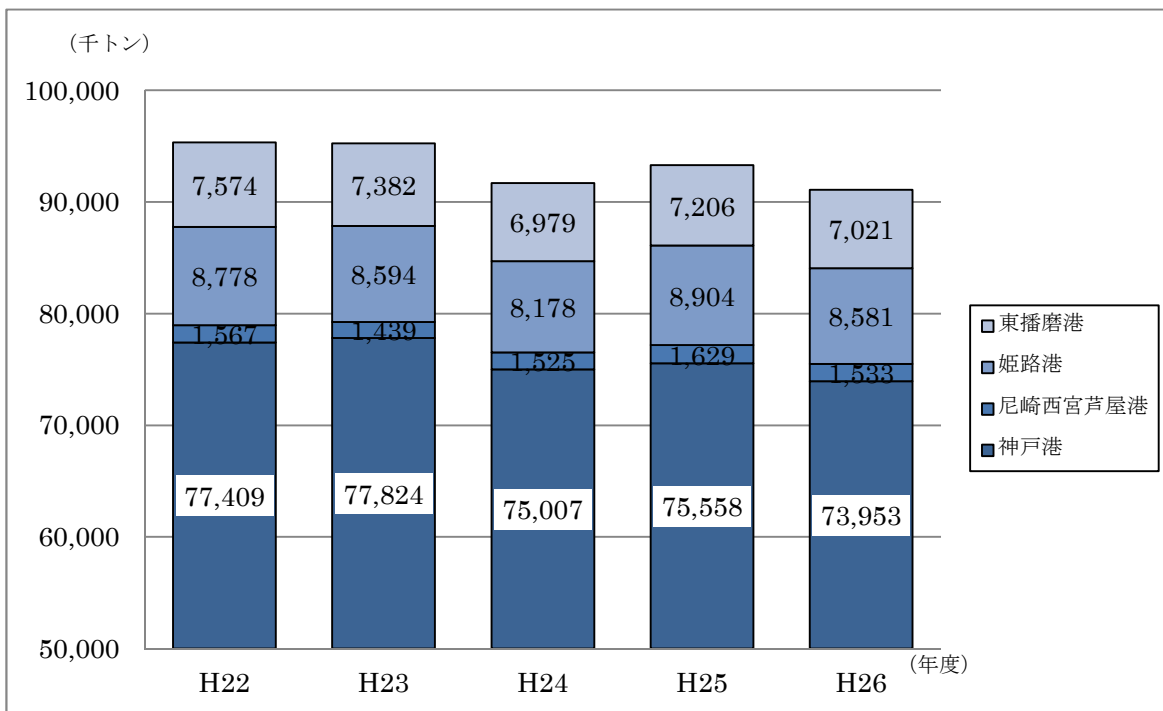
はしけ稼働実績は、第12図のとおりである。管内における平成27年3月末現在の港運はしけ保有状況は、計133隻75,536積トンであり、平成26年度の輸送実績は1,602千トン（110.6%）であった。

第12図 管内におけるはしけ稼働実績の推移



各港別の沿岸荷役の実績は、第13図のとおりである。管内における平成26年度の沿岸荷役実績は91,088千トン（97.6%）であった。

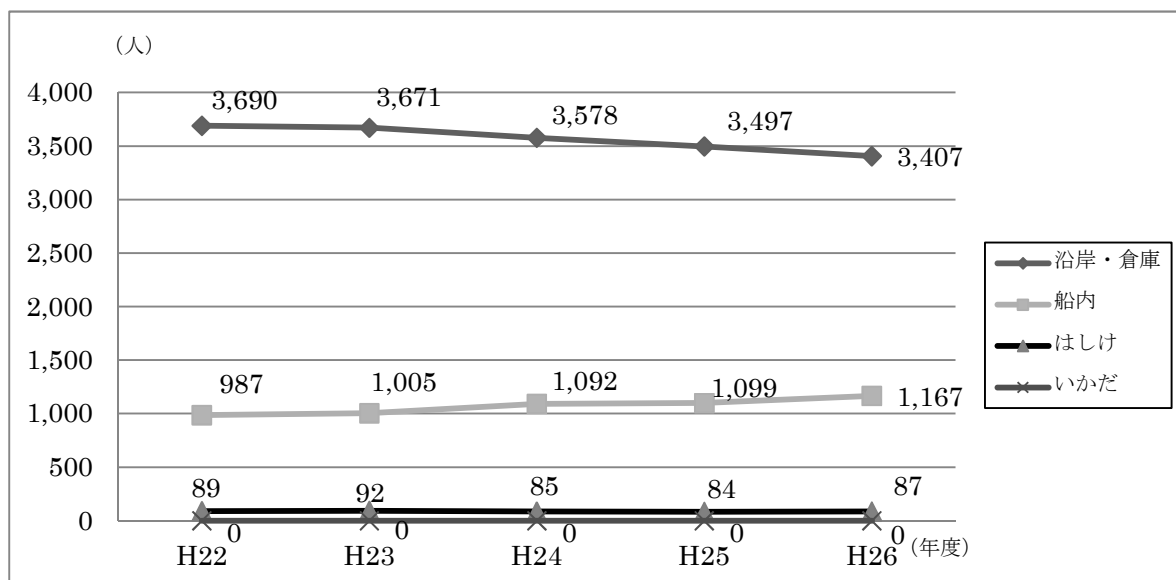
第13図 沿岸荷役実績（単位：千トン）



(3) 港湾労働者の現況

神戸港の常用港湾労働者数は、平成27年3月末における港湾労働法上の届出数で4,661人（対前年同月比99.6%）であった。

第14図 神戸港における港湾労働者数（常用）の推移



（資料）神戸公共職業安定所